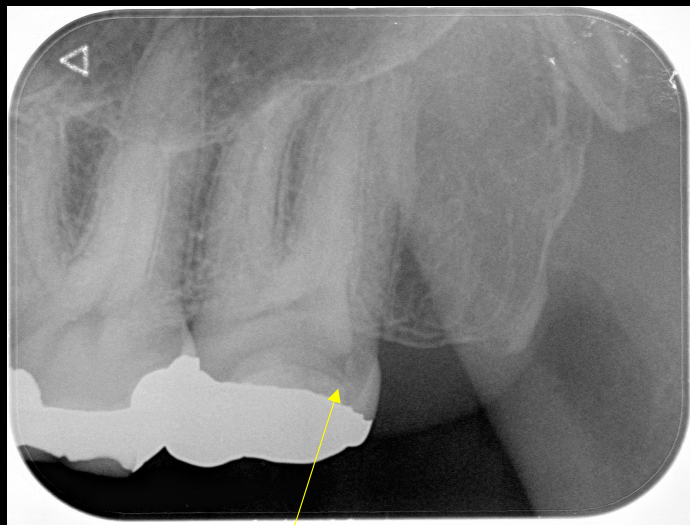


Case 1

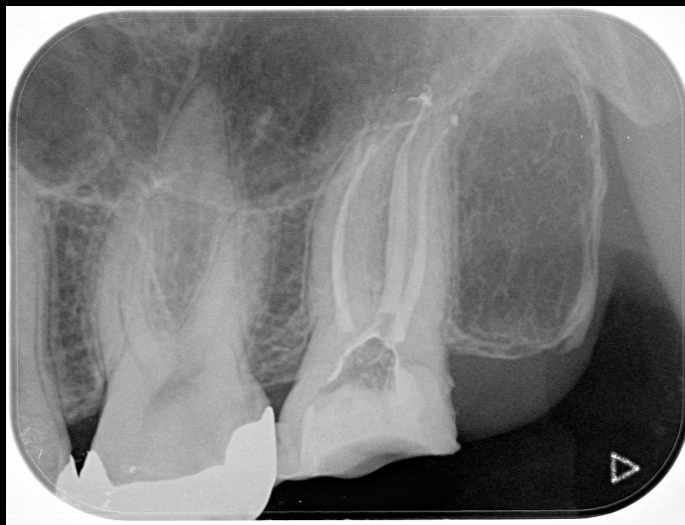
#27 抜髄

術前



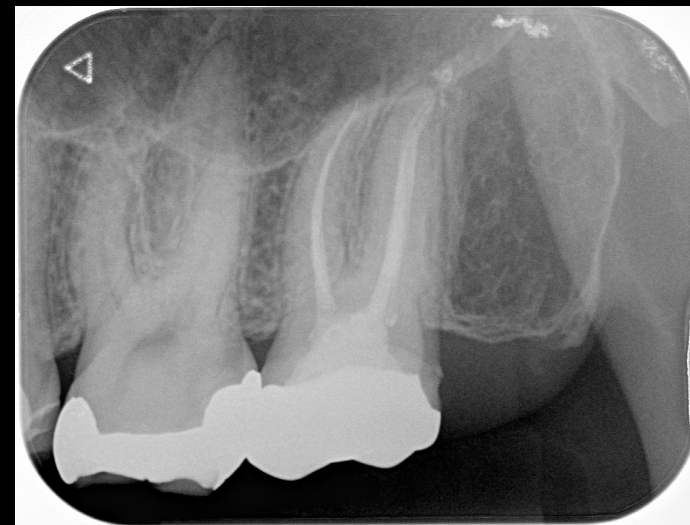
歯髄に接近するカリエスがあるため抜髄を行った

根充



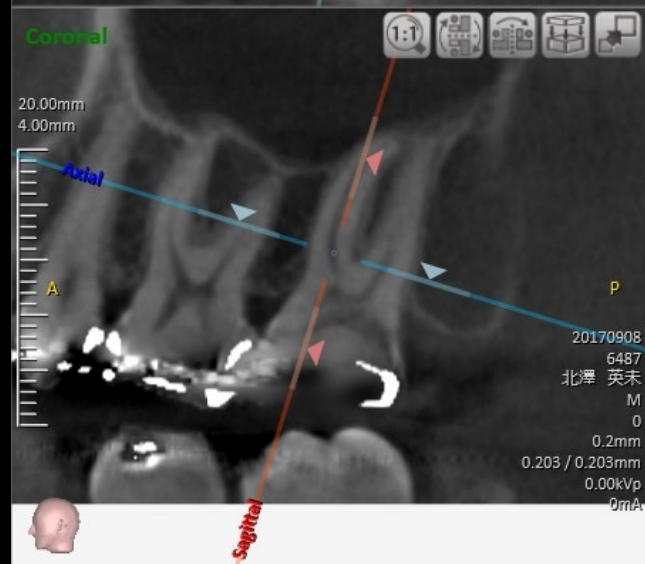
顕微鏡とラバーダムを用いて緊密に根管充填を行った

補綴後



精密なセラミック修復物を装着

CT画像



case1

#27 抜髄

支台歯形成



圧排



ラバー印象



レジンセメントで装着



根管治療後は顕微鏡を用いて支台歯形成を行い唾液中の細菌が侵入しにくい精密な補綴物を装着した

治療内容

奥歯がしみて痛むとの主訴で来院。診査の結果、不適合銀歯の周辺から細菌が歯牙内部に侵入し歯髄炎を起こしていたため抜髄を行った。

術前のCT検査から根管の形態を把握しマイクロスコープ・ラバーダムを用いて歯髄を除去した。痛みが消失したのを確認し2回目に根管充填、ファイバーコアにて根内部を封鎖した。3回目にマイクロスコープを用いて支台歯形成、印象を行い4回目に精密なセラミック修復物をセットして治療終了となった。

治療期間

一回の治療（1～2時間） 1か月半

費用の概算

マイクロエンド 13万2000円 / ファイバーコア 2万2000円
仮歯 6千600円 / セラミック冠 16万5000円（全て税込み）

治療後の経過

処置後数日で痛みは消失した。セラミックセット後も普通にかむことが出来1年に1回の定期チェックを行っている。

主な副作用

抜髄は根管内組織を100%除去できないため、慢性根尖性歯周炎へ移行する可能性があるため定期的なチェックが必要